

農林水産業を支える技術開発と普及

農業技術センター

農業技術センターでは、都市農業の持続的な発展を支援するため、農業技術の研究・開発を行っています。

また、農業経営の改善等に役立つ新しい技術や知識を農業者へ普及指導するとともに、担い手の育成・確保に関する支援などを行っています。

研究と開発

県民に新鮮で安全・安心な農産物を安定的に提供するとともに、環境と調和した農業を推進するための技術開発に取り組んでいます。

- ・かながわらしいスマート農業の促進や、消費者・実需者ニーズに対応した特産品の販売を支援するための技術開発に取り組んでいます。
- ・地産地消を推進するための新品種の育成や高品質・安定生産技術の開発、特色ある地域農業を支援するための技術開発に取り組んでいます。
- ・農業生産による環境負荷の軽減や脱炭素化に向けた生産技術の開発に取り組んでいます。



環境負荷を軽減する
トマト栽培の試験



強い甘みと適度な酸味で濃厚な味わいの
イチゴ新品種「かなこまち」



スマート農業の試験栽培を
行う「ICT温室」



「ドローン」を活用した生育状況等の
センシング技術開発

普及と支援

農業者に対し、農業技術支援を軸とした普及指導、農業の担い手の育成・確保に取り組んでいます。

- ・新規就農者の定着、経営発展を目指す農業者の経営改善等を支援しています。
- ・県民ニーズに応じた安全・安心な農畜産物の生産・販売の取組を支援しています。
- ・ICT(情報通信技術)、ロボットなどの先端技術を活用したスマート農業の取組を支援しています。
- ・気候変動に対する適応策、有機農業などの環境保全型農業や自然災害への対応等の取組を支援しています。
- ・地域農業を振興するための取組を技術的に支援しています。



トマト生産者への技術指導



花き生産者への技術指導

畜産技術センター

畜産技術センターでは、県民に良質な畜産物を安定的に提供するとともに、都市と調和した畜産業を推進する試験研究を行っています。

また、研究成果及び高度技術を生産者に普及させるとともに、担い手の育成・確保に関する支援を行っています。

研究と開発

県民に高品質な畜産物を安定的に提供するとともに、都市と調和した畜産業を推進する試験研究を行っています。

- データ駆動型畜産の実践による生産性の高い畜産経営の実現に取り組んでいます。
 - 1 データを活用して生産性向上を図るための技術開発
- 県民ニーズに応える魅力ある畜産物の提供に取り組んでいます。
 - 2 県産ブランド畜産物の生産を推進するための技術開発
 - 3 安全・安心な畜産物を提供するための技術開発
- 環境と調和した畜産経営の実現と脱炭素社会への貢献に取り組んでいます。
 - 4 環境と調和した畜産経営のための技術開発
 - 5 脱炭素社会に貢献するための技術開発



スマート技術を取り入れた浄化
槽のばっ気制御技術の開発



未経産牛を活用した
牛群改良方法の開発



効率的な生産と臭気問題に
対応可能な畜舎の実証研究



畜産経営における温室効果ガス
削減方法の検討



夏季の家畜の暑熱ストレスを
低減するための技術開発



国産濃厚飼料増産のための
子実トウモロコシの生産方法の検討

普及と支援

畜産農家に対する畜産技術支援を軸とした高度技術の普及指導、畜産の担い手の育成・確保を行っています。

- 畜産の担い手の育成や経営発展を目指す畜産経営を支援しています。
- 県民ニーズに応じた高品質で安全・安心な畜産物の生産・販売の取組を支援しています。
- 子牛の哺乳ロボットや畜舎の監視カメラ等IoT、ICTを活用したスマート畜産の取組を支援しています。
- 気候変動、畜産環境対策、社会情勢の変化に対応した畜産経営の取組を支援しています。
- 市町村等と協力して地域畜産の振興を図るための取組を支援しています。



就農5年目までの担い手を
対象とした農業セミナー



酪農家の交配計画作成支援



哺乳ロボットで哺乳した
子牛の発育調査



飼料用イネ専用品種の
生育調査

水産技術センター

水産技術センターでは、「きれいな海」を守り、「新鮮な魚」を提供する水産業の振興を目的として、資源管理型漁業や栽培漁業の推進、水産物の利用加工、海況・漁況情報の活用、水域環境の保全などに関する研究を行っています。

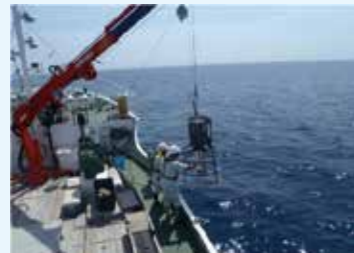
また、漁業者に対して漁業技術及び経営に関する普及・指導業務や担い手の育成・確保に関する支援を行っています。

研究と開発

県民に新鮮で安全・安心な水産物を安定して提供するための技術開発に取り組んでいます。



漁業調査指導船江の島丸

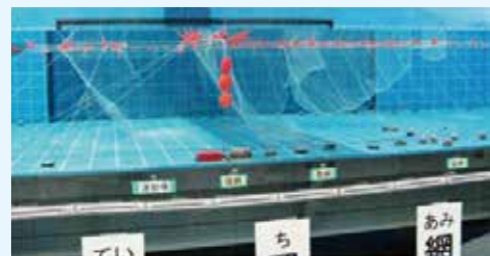


海洋観測

- ・漁業の再生を目指して、「水域環境の保全と再生」に取り組んでいます。
- ・資源を増やすことに加え、持続させる管理と利用の手法を目指した「水産資源の持続的利用の促進」に取り組んでいます。
- ・最先端の科学技術の活用や水産物の特性や強みをいかした「県民への魅力的な水産物の供給」に取り組んでいます。



キャベツウニの養殖技術開発



回流水槽による漁具模型実験



アユ卵の孵化筒



トラフグの放流種苗



ドローンでの定置網状況調査



溪流環境調査

普及と支援

漁業者に対する技術及び知識に関する普及指導や担い手の育成確保の支援を行っています。



漁業者によるハマグリ調査



体験漁業

- ・沿岸漁業の生産性の向上、漁業経営の近代化及び漁業生産技術の改良を図るため、沿岸漁業等の就業者に技術及び知識に関する普及指導を行い、優れた経営感覚をもつ漁業者の育成を支援しています。

自然環境保全センター

自然環境保全センターでは、「多様で豊かな自然環境の保全・再生と活用」を長期目標とし、主に丹沢大山自然再生計画、かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画、神奈川県花粉発生源対策10か年計画等の取組に関連した試験研究・技術開発を推進しています。

ブナ林の再生にかかる研究開発

水源林の中でも特に貴重な自然生態系である丹沢のブナ林について、ブナ林衰退機構や対策技術に関する研究成果などをとりまとめた「丹沢ブナ林再生指針」を踏まえ、ブナ林再生事業の検証及びブナ林衰退対策にかかる技術開発に取り組んでいます。



大規模ギャップの森林再生調査



大気・気象モニタリング調査



ブナハバチ被害防除試験

水源林の機能評価にかかるモニタリング調査

「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」に基づき、水源施策の効果をわかりやすく説明するため、また水源施策を柔軟に推進するために、水源かん養機能評価及び生物多様性機能評価にかかるモニタリング調査に取り組んでいます。



水源かん養機能調査



生物多様性機能調査(植物)



生物多様性機能調査(動物)

スギ・ヒノキの人工林管理技術の改良

社会問題になっているスギ・ヒノキ花粉症に対し、これまでの研究成果を基に、無花粉ヒノキの苗木生産実用化及び無花粉スギの苗木生産効率化に取り組んでいます。また、雄花着花量調査に基づく花粉飛散量予測も実施しています。(全国初の無花粉ヒノキ「丹沢 森のミライ (愛称)」令和3年春初出荷・令和4年3月15日品種登録)



無花粉ヒノキの直さし試験



ヒノキの人工交配



無花粉スギ閉鎖系採種圃